

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	競艇事業部	関連部課名	
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	競艇			
売上を伸ばして市の財源を確保するため、安全で快適なアミューズメント施設の形成に向けた施設の整備及びメンテナンスの向上、警備体制の強化などを進めるとともに、開催経費の削減、民間委託や人件費の削減などの競艇事業の合理化に向けた取組などを推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ナイターレースの魅力を最大限に生かした取組により、市の財源が確保されています。</li> <li>● 施設の改善を通じて競艇のイメージが刷新され、多くのファンで賑わっています。</li> <li>● 開催経費の削減、民間委託などによる事業の合理化が進み、収益力、生産力の高い安定経営が維持されています。</li> </ul>				

#### ◆具体化した施策の取り組み実績

##### 1 来場促進及び売上向上

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
ビッグレースおよび魅力あるレースの提供	GⅢ女子リーグ戦競走の開催	GⅢイースタンヤング競走の開催	SGモーターボート記念競走の開催
発売延べ日数の拡大	965日	1,420日	1,440日
入場料無料実施日数	6日	—	—

##### 2 業務効率化などによる経費削減

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
人員(従事員)数の適正化	175人	147人	122人

##### 3 競艇場施設の一体的な整備

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
施設改善事業	新スタンド建設工事完了	新スタンド施設改善工事完了	—
大型映像装置等更新工事	—	—	更新工事完了

##### 4 安全性・快適性の確保

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
周辺地区の防犯灯設置数	947台	954台	957台

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
売上額	目標値		570億円	780億円	800億円
	実績値	617億円	700億円		平成32年度
他会計への繰出額	目標値		21億円	23億円	20億円
	実績値	20億円	21億円		平成32年度
1日あたり入場者数	目標値		2,200人	2,600人	4,000人
	実績値	1,794人	2,520人		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
売上額	本場開催レースの売上額
他会計への繰出額	モーターボート競走事業会計からの他会計への繰出額
1日あたり来場者数	来場促進の評価数値として、当年1日あたりの本場来場者数

◆指標の分析

<p>平成26年度の各指標実績値について、売上額1日平均は前年比109.9%、入場者数1日平均は140.5%であった。この要因として、平成26年4月に完成した明るい雰囲気の新スタンド効果と考えられ、売上額及び本場入場者数は増加している。しかしながら売上額増加はスマートフォン普及による電話投票の拡大であり、入場者数は施設改善工事前の平成23年度の入場者数3,480人に達していない。</p>
---

<p>施策の課題</p>	<p>施設改善工事に伴い平成24年度と25年度は東スタンドでの仮設による運営、平成26年度は新スタンドオープンするが東ゲート及び立体駐車場を含む東側部分が未完成である。 またボートレース業界全体を覆う不況の中で、本場への来場者の減少が懸念される。</p>
--------------	---

<p>今後の施策展開</p>	<p>平成27年4月には東ゲート及び立体駐車場を含む東側部分が完成しグランドオープンを迎える。これにより施設の安全性、快適性を向上させ、本場への来場促進および売上の向上を図る。 また、ランニングコストの低減などの経費削減により、効率的な運営を図り、収益を向上させる。 なお競技部等の改修については施設改善事業の全工程終了後に検討する。</p>
----------------	---

課長評価	構成事業の進捗状況	A: 目標達成に向けて計画どおり進行している。
	施策の進め方	A: 現状のままでよい。
	コメント	本場来場者数(最大約10,000人)に対応したコンパクトな施設として、新スタンドが平成26年4月にオープンしました。これにより減少傾向にある本場への来場者を増やして売上の増加を図るとともに、ランニングコストを縮減することにより更なる収益の向上を目指していきたい。

部長評価	施策の進捗状況	A: 目指す将来像実現に向けて順調に進行している。
	コメント	平成26年4月に新スタンドがオープンし、明るく安心なイメージへの刷新が図られ、来場者の中に女性、若者、家族連れが目立つようになり、入場者は増加しているが、更なる来場促進を図る必要がある。 開催経費の削減策として従事員の退職者不補充を継続しており、人件費の削減が図られ、売上に関しては前年比13%増となり市財政へ繰出しを行ってもなお収益確保はできた。 H27年4月にはスタンド東側の立体駐車場も完成して、グランドオープンを迎えることとなるので、更なる集客につなげて売上向上を目指して行きたい。